

DATA

しっかり発言

質問回数
3184回

(2004年6月～2019年7月・全会議)

市政をチェックするため、議会の質問は何より大事です。議案などを審査する常任委員会での質問回数は断トツで最多です。

親身な対応

生活相談
3028件

(2019年9月まで)

たくさんの深刻な相談の解決に奔走してきました。「格差と貧困は『自己責任』ではない、政治を変えなければ」との思いを強くしています。

毎週発行



議会報告
400号!

突破!

自慢の健脚



ロードバイクで鍛えた脚力を生かし、行動力バツグン・現場主義でがんばっています。

PROFILE

- 1975年生まれ(生家は草戸町)。いずみ幼稚園、光小学校、鷹取中学校、近大附属福山高校卒業。福岡大学工学部卒・同大学院修了。
- 福山市議4期。文教経済委員会。議会運営委員会(副委員長)。地方創生調査特別委員会。(鞆町)伝統的建造物群保存地区保存審議会
- 趣味はロードバイク、釣り、ピアノ、スキー、手品。ゴーヤとコーヒー好き。日課は腹筋140回。

OFFICE



福山市多治米町 4-28-10

TEL **084-957-2304**

FAX 084-957-2401

お呼びいただければ
出張いたします

市政報告 & 懇談会

社会的弱者の助っ人
土屋くん



障害者作業所指導員
塩沢 智さん

今の政治はおかしいことだらけ。障害児・者支援、介護保険、保育など、それぞれの専門性を大事にせず予算の削減ばかりされています。病气や働くことができなくても、誰もが将来を心配することなく暮らせる社会であってほしい。そのためにも、予算は軍事費でなく社会保障や福祉に有効に活用してほしいと思います。

若さと実行力と勉強家
土屋さん



千代田町
岡本 トシ子さん

市議会議員になった時から応援しています。私も政治に関心が増し、新聞等情報も知れば知るほど、市民の願いをかなえる、また、市政に声を届けてくれる人が大切だと思いを強くしています。それが、若さと実行力と勉強家の土屋ともりのりさんです。

28歳で初当選し、以来、議員活動4期16年。しかし、議員になる前は、ブラックな職場で不安な日々を送る普通の若者でした。命の危険さえ感じたある日、「誰かが声をあげなければ」と。無我夢中のたたかきを通じて得たものとは――。

声をあげれば変えられる。
こんどはみんなを励ます側に。
あの日の決意が原点です。



福山市議会議員

TOMONORI
TSUCHIYA

土屋ともり

STORY

労働者の権利は
使ってこそ生きたものに

今、非正規雇用や低賃金・長時間労働など、働く人が大切にされない社会で多くの人が苦しんでいます。私も、そんな若者の一人でした。

夢だったエンジニアとして就職した会社で待ち受けていたのは「スーパードラック」労働。同僚や先輩が次々と倒れる中、私に声をあげる勇気をくれたのは「労働者の権利は使ってこそ生きる」という言葉でした。

やった!

未払い残業代を払わせた!

悩んだあげく「だれかが声をあげなければ」と、未払い残業代を求めて会社とたたかうことを決意。交渉の結果、未払い残業代を払わせ、長時間労働をなくすことができたのです。労働者には権利がある、一人では弱くても支えがあればがんばれる、成果がえられると身をもって知りました。

ふるさと福山のため
私にできることを問いながら

「二人じゃない、声をあげれば変えられる」私も今度はみんなを励ます側になりたい。そして、だれもが生きがいをもつて働き、人生を楽しめる社会にしたい。私の政治家としての原点です。たくさんの「声なき声」により、人間が人間らしく生きられる社会を。この思いは今も変わありません。